

ブラック・ショーマンと覚醒する女たち

著者名： 東野圭吾
出版社： 光文社

真実に辿り着くためなら、嘘さえも華麗に武器にする。東野圭吾が生み出した常識破りのヒーローの活躍が再び！

一夜：隠蔽捜査10

著者名： 今野 敏
出版社： 新潮社

著名作家の誘拐事件が発生。竜崎はミステリ作家とタッグを組み捜査に挑む！ 神奈川県警刑事部長・竜崎伸也のもとに、著名な小説家・北上輝記が小田原で誘拐されたという報が舞い込む。犯人も目的も安否もわからない中、竜崎はミステリ作家・梅林の助言も得ながら捜査に挑むことに。累計330万部突破の大人気シリーズ、記念すべき第10弾！

東京都同情塔



著者名： 九段 理江
出版社： 新潮社

日本人の欺瞞をユーモラスに描いた現代版「バベルの塔」。ザハの国立競技場が完成し、寛容論が浸透したもう一つの日本で、新しい刑務所「シンパシータワーキョー」が建てられることに。犯罪者に寛容になれない建築家・牧名は、仕事と信条の乖離に苦悩しながら、パワフルに未来を追求する。ゆるふわな言葉と実のない正義の関係を豊かなフロウで暴く、生成AI時代の預言の書。

八月の御所グラウンド



著者名： 万城目 学
出版社： 文藝春秋

死んだはずの名投手とのプレーボール。戦争に断ち切られた青春。京都が生んだ、やさしい奇跡。女子全国高校駅伝——都大路にピンチランナーとして挑む、絶望的に方向音痴な女子高校生。謎の草野球大会——借金のカタに、早朝の御所G（グラウンド）でたまひで杯に参加する羽目になった大学生。京都で起きる、幻のような出会いが生んだドラマとは——

ラウリ・クースクを探して (直木賞候補)

著者名： 宮内悠介
出版社： 朝日新聞出版

1977年、エストニアに生まれたラウリ・クースク。コンピュータ・プログラミングの稀有な才能があった彼は、ソ連のサイバネティクス研究所で活躍することを目指す。だがソ連は崩壊し……。歴史に翻弄された一人の人物を描き出す、かけがえのない物語。

ともぐい



著者名： 河崎 秋子
出版社： 新潮社

明治後期の北海道の山で、猟師というより獣そのものの嗅覚で獲物と対峙する男、熊爪。図らずも我が領分を侵した穴持たずの熊、蠱惑的な盲目の少女、ロシアとの戦争に向かってきな臭さを漂わせる時代の変化……。すべてが運命を狂わせてゆく。人間、そして獣たちの業と悲哀が心を揺さぶる、河崎流動物文学の最高到達点！！

夜明けのはざま

著者名： 町田 そのこ
出版社： ポプラ社

地方都市の寂れた町にある、家族葬専門の葬儀社「芥子実庵」。仕事のやりがいと結婚の間で揺れ動く中、親友の自死の知らせを受けた葬祭ディレクター、元夫の恋人の葬儀を手伝うことになった花屋、世界で一番会いたくなかった男に再会した葬儀社の新人社員、夫との関係に悩む中、元恋人の訃報を受け取った主婦……。

襷がけの二人 (直木賞候補)

著者名： 嶋津 輝
出版社： 文藝春秋

裕福な家に嫁いだ千代と、その家の女中頭の初衣。「家」から、そして「普通」から逸れてもそれぞれの道を行く。親が定めた縁談で、製缶工場を営む山田家に嫁ぐことになった十九歳の千代。実家よりも裕福な山田家には女中が二人おり、若奥様という立場に。夫とはいまひとつ上手く関係を築けない千代だったが、元芸者の女中頭、初衣との間には、仲間のような師弟のような絆が芽生える。。

なれのはて (直木賞候補)

著者名： 加藤 シゲアキ
出版社： 講談社

ある事件をきっかけに報道局からイベント事業部に異動することになったテレビ局員・守谷京斗（もりや・きょうと）は、異動先で出会った吾妻李久美（あづま・りくみ）から、祖母に譲り受けた作者不明の不思議な絵を使って「たった一枚の展覧会」を企画したいと相談を受ける。しかし、絵の裏には「ISAMU INOMATA」と署名があるだけで画家の素性は一切わからない。二人が謎の画家の正体を探り始めると、秋田のある一族が、暗い水の中に沈めた業に繋がっていた。

人間標本

著者名： 湊 かなえ
出版社： KADOKAWA

蝶が恋しい。蝶のことだけを考えながら生きていきたい。蝶の目に映る世界を欲した私は、ある日天啓を受ける。あの美しい少年たちは蝶なのだ。その輝きは標本になっても色あせることはない。五体目の標本が完成した時には大きな達成感を得たが、再び飢餓感が膨れ上がる。今こそ最高傑作を完成させるべきだ。果たしてそれは誰の標本か。——イヤミスの女王、さらなる覚醒。15周年記念書下ろし作品。